

ぜん きょう じ  
善巧寺報

6 月号

月刊●善巧寺報

〒344-0032 埼玉県春日部市備後東4丁目1番17号  
TEL 048(734)7660  
榎本明覚



松任駅前・千代女の里俳句館前  
加賀千代女像 (部分)

▼二〇一九年六月一日▲

ゲイトウェイ 妙好人

～ 加賀千代女 ～

# 定例法座

毎月 十一日

◎六月十一日(火)午後二時

～四時

於 善巧寺 本堂

## 「孤独と友」

お釈迦様は「学識豊かで真理をわきまえ、高邁(こうまい)、明敏な友と交われ。いろいろとためになることがらを知り、疑惑を除き去って、犀の角のようにただ独り歩め。」と仰いました(『スッタニパータ』中村元訳)。時に百獣の王ライオンさえも追い払うサイの勇猛さ。ぶれず媚びず何事にも動揺しないサイの角のように人生を歩みなさいと言うのです。さらにそうした歩みは、すぐれた友達と交流し、物事の道理を明らかにしていくことによってもたらされる、と言います。親鸞聖人にとって高邁明敏な友とは、南無阿弥陀仏のいわれを教えて下さったお師匠法然聖人であり、阿弥陀仏の、煩惱を断じ尽くしたところにあるわかれる一切のものを見捨てないという心でした。あなたにとって友とは?

# みほとけ会月例会

◎七月七日(日)午後一時開場

一時半～二時半

於 RAKUNA 新宿 会議室 A

(新宿西口 D5 出口より出て右手すぐダ

イカンプラザ 808 号室が会場です)

会費 五〇〇円

## 『我慢はイカン』

「何事も忍耐強く我慢しなければいけません」と先輩たちに教わってきた私たちですが、仏教では、我慢とは「我に慢心し、自身が立派な者であると錯覚し謙虚さを失い、改善する可能性を自ら断ってしまう」という煩惱の一つとして数えられています。修行者にとってこの煩惱を克服することは極めて難しいことから、辛いことを耐え忍ぶ、という現在用いられている意味あいになってきたようです。「我慢の我は、我が強い我」と仰る方もいらつしやいますね。ともあれ、我慢というのは抑制抑圧であり、可能性を閉ざしてしまふことにつながり、強く生きていく力になりません。それらを溜めこむと

身心共によりしくありません。自分がどうありたいのかよく考え目標を立て、忍耐強く努力するならば、主体的に生きているという充足感が生まれ、それが新たな一歩を踏み出す力となることでしょう。

※今回は会場が少し変わります。新宿西口 B5 出口からすぐ、一階にカラオケ館があるレンガ色のビルです。

## ◆◆春日部だより◆◆

◎去る五月十九日、善巧寺門信徒総交代経法要を勤修いたしました。お蔭を持ちまして無事円成させていただきました。事が出来ました。ご参詣の皆様、ご懇念を運んで下さった皆様、準備お手伝いにご尽力下さった皆様に厚く御礼申し上げます。





◎毎月、善巧寺開基の地である東京都世田谷区豪徳寺駅前で開催してあります「みほとけ会」。現在は新宿駅近くの貸し会議室を利用して細々ながらも(笑)ご法話会を継続しております。開催日も日曜日に変更、参加者を広く募っております。本年も有志の方に賛助会員をお願いをいたしたく存じます。概要は左記の通りです。お参りの際にお願いすることもあるかと存じますが、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

### みほとけ会賛助会員募集要項

賛助会費 一〇千円

特典 ○みほとけ会月例会

参加無料券×三枚

○腕輪念珠 一連

(阿弥陀経に出る浄土の蓮の花にちなんだ色のお念珠です。今年は赤色赤光になります。)